



## 聶耳碑前祭で日中友好誓う



鈴木恒夫藤沢市長

呉江浩中国大使

安恩法昆明市副市長

記録的な猛暑が続く7月17日(月)午前9時半から、鵠沼海岸の聶耳記念碑広場において碑前祭が開催され、多くの市民が参加して中国国歌作曲者・聶耳の功績を称えるとともに故人を偲び献花をしました。今年の碑前祭には鈴木恒夫藤沢市長をはじめ、中国大使館からは呉江浩大使、昆明市からは安恩法副市長などの来賓も参列し、日中友好平和条約締結45周年にふさわしい盛大な催しとなりました。

今回は彩雲基金日本研修で来藤した黄さんと楊さん、湘南中国語スピーチコンテストで優勝し

た角田さんと松ヶ浦さんも若い世代を代表して参加し、日中友好をさらに発展させるための懸け橋として貢献したいと挨拶しました。



現在は米中対立など日中友好を妨げる厳しい世界情勢が続いていますが、私たち湘南日中は「以民促官」の考えのもと、この藤沢から草の根の市民による日中友好を広げていきたいと思えます。

炎天下ではありましたが碑前祭には湘南日中からも20人余りの会員が参加しました。皆さま、お疲れさまでした。

# 4年ぶりの彩雲基金日本研修旅行



(交流した湘南工科大学の学生と黄さん・楊さん)

第13回彩雲基金日本語スピーチコンテストで特等賞に入賞した黄沢巧さん(雲南大学3年)と楊婧涵さん(昆明文理学院2年)が7月11日に来藤しました。コロナ禍による交流中止のため4年ぶりの日本研修旅行となりました。二人は藤沢市内の大学や高校での交流を行ったほか、華道や茶道など日本の伝統文化にも親しみ、江の島をはじめとした若者に人気の観光スポットも回ることができました。轟耳記念碑前祭にも参加し、7月18日に成田空港から帰国の途に就きました。来年4月に予定される昆明でのコンテストでまたお会いしたいと思います。

## 昆明市から代表団



(湘南日中主催歓迎会に安副市長と鈴木藤沢市長も参加)

藤沢市から轟耳記念碑前祭に招聘された昆明市の安恩法副市長を団長とする公式訪問団(5名)が7月16日に来藤しました。

一行は17日夜の湘南日中による歓迎会にも参加し、40年以上にわたる藤沢市と昆明市の友好都市提携、コロナ禍における相互支援など相互の固い友情を確認しました。湘南日中会員と酒を酌み交わし、大いに交歓したところです。

# 松ヶ浦さんが昆明市訪問



(附属学校の生徒から熱烈歓迎を受ける松ヶ浦さん)

第2回湘南中国語スピーチコンテスト高校生の部で優勝した松ヶ浦貴さん(藤嶺藤沢高校2年生)が当実行委員会の上野事務局長とともに8月初め昆明市を訪問し、西南聯大研究院附属学校の生徒と交流しました。前回はコロナ禍のため交流派遣はできませんでしたが、ようやく渡航制限が緩和されるなかで実現しました。

交流会ではお互いの高校生活の紹介のあと、雲南名物料理「米線」なども振舞われました。松ヶ浦さんが「折鶴」を折って披露したり、附属学校の生徒が即興で切り絵をつくるなどしてとても盛り上がり、終始打ち解けた雰囲気でも友好交流が行われました。

附属学校の生徒たちとの再会と、今後の交流を約束して附属学校を後にしました。

## 轟耳記念碑広場の清掃ボランティア

毎月第3日曜日に鵠沼海岸の轟耳記念碑広場の清掃ボランティアをやっています。

9月は17日、10月は15日を予定しています(いずれも午前10時に現地集合)。ぜひご参加くださるようお願いいたします。

**事務局から** 原発事故汚染水の海洋放出問題が日中間の大きな火種となっているが、私は日本政府の対応に疑義がある。汚染水にはデブリから発生した200種類ほどの放射性物質が含まれている。ALPSで除去できるのはその一部に過ぎず、微量とはいえ多くの放射性物質が汚染水には残留している。都合のいい情報だけ流し、より安全な処理方法を選択せず、漁協などの反対を押し切った環境破壊はいかがなものか。(上野)